

## ボトムアップで地域再生を進める方法

—藤原直哉の体験を振り返って考える—

- 1、特に期限を切らない持続性が地域再生活動の基本であり、有志の自力で進めるのがボトムアップ
- 2、地域再生の入り口は地元の特産物や観光客の誘致、出口は定住者の代々の定着
- 3、地域に活力があると住民の定住者が増え、さらに観光客が増え、外部からの定住者が増えて、やがて代々そこで暮らす人が増えてくる。
- 4、成功のカギはたまり場の活性化と発展。何もなくてもたまり場から始めよ。中の人と外の人との交流を
- 5、縁のある人と縁のある場所に出会ったところから本格的に始まり、節目が来たら組織をアップグレード
- 6、地域、集落、組織、個人の個性との向き合い方
- 7、行政や政治との向き合い方
- 8、地域再生におけるデジタルとアナログ
- 9、悠久の歴史をつなぐダイナミズム